



プレスリリース (2012年6月11日)

「ベルギー進出日系企業の状況- 2012年版」の出版発表

BJA（日白協会兼商工会議所）の投資委員会は、このたび「ベルギー進出日系企業の状況（2012年版）」を刊行しました。本書の出版発表は、2012年6月11日に、ベルギー貿易使節団長として来日中の、フィリップ皇太子殿下へ献上する形で行われました。

BJAでは、2000年と2006年に、「ベルギー進出日系企業の状況」を刊行しており、今回の版では、最新の日系企業の進出と事業展開に伴う新たな経験を取り入れました。

本書に収められた日系企業の経験によると、ベルギーが、研究開発を含む日系企業の高度なオペレーションの進出先として、適していることを示しています。

日系企業のグローバル化が進んでおり、また先進国間で誘致競争が行われているため、企業による研究開発投資の誘致は、重要になっています。

これらの企業が、ベルギーの投資環境として、高く評価しているのは、次の点です。

- ベルギーは、欧州の玄関口に位置し、他の市場へのアクセスが容易である。
- 整ったインフラを備えている。
- 研究開発要員を含め、レベルの高い人材が揃っている。
- ベルギーの連邦・地域政府が日系企業を歓迎している。
- 生活の質が高い。

ベルギーの投資環境を一層魅力的にするために改善すべき点としては、次の点が共通して挙げられています。

- 人件費、特に雇用主負担の社会保障掛け金を抑制すべきである。
- 規制を緩和し、各種行政手続きを簡素化すべきである。
- 英語文書を行政手続きにおいて認めるべきである。
- 日本とベルギー間の直行便を実現すべきである。

本書に事例を提供しているのは、下記の企業です。ベルギーのブリュッセル、フランダース、ワロン地域に進出しているさまざまな業種業態の企業です。

AGC ガラスヨーロッパ
エイ・ダブリュ・ヨーロッパ
三菱東京UFJ銀行ブラッセル支店
ダイキンヨーロッパ
F. P. N. I.
FUJIFILM ヨーロッパ
ジーシーヨーロッパ

カネカ・グループ
神戸大学ブリュッセルオフィス
メイコーヨーロッパ
ベネルックス三井物産
NYK バルクアトランティック
OSG ヨーロッパ
テルモヨーロッパ



GIGA
ホンダ
IMEC

トヨタ紡織ヨーロッパ
トヨタモーターヨーロッパ
非営利法人 ヤクルト本社ヨーロッパ 研究所

今回の調査は、2008年の世界的経済危機からの回復もままならぬうちに、東日本大震災、タイの洪水、ユーロ危機、円高に襲われるという、日系企業をとりまく厳しい状況が続く中で行われました。日系企業がベルギーの地の利、人の利を最大限に利用して奮闘している様子がうかがわれるかと思えます。

また、今回の版では、日系企業の進出形態が多様化していることを考慮し、日本と深い関係を持っているベルギーの研究機関も含めました。

本書は BJA 投資委員会の主導で、作成されました。

本書を作成するにあたって、ご協力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

問い合わせ先

BJA日白協会兼商工会議所
投資委員会委員長
野村正智
mnomura@kpmg.com
+32 475 607952

BJA Executive Director
Anja Oto-kellens
oto-kellens@bj.be

*BJA*について

BJA（日白協会兼商工会議所）には、在ベルギーの主要日系企業、ベルギー企業、多国籍企業、個人により構成されており、会員数は650に上ります。BJAは、日、欧、ベルギー間の、ビジネス関係、文化関係を推進することを目的とした、ダイナミックな非営利組織で、昼食会、貿易・投資セミナー、文化関係の催し物などを開催しています。

BJAは、さらに、出版などによるビジネスに関連する情報提供、政策形成への貢献、会員間の交流などを通じ、日本とベルギー間のビジネス推進に貢献しています。

www.bja.be